

科目名称：	油画・日本画演習Ⅲ	
担当者名：	本山二郎・今村文男・堀一浩	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	5
授業の目的・テーマ		
洋の東西を問わず絵画芸術の伝統の中から、現代を表現するにふさわしい技法を実践的に学ぶⅢ。 2年後期では大作品の制作活動を通じて発想・取材とともに一層高度な技法を修得し、作家としての表現力を育てることを目的とする。		
授業の達成目標・到達目標		
油画・日本画演習Ⅰ、Ⅱを発展させ、自己の感性を油画・日本画それぞれの画材で表現に昇華させる制作実習を行う。発想・取材→構成・構想を練る→下図、エスキースづくり→本制作→完成へという段階を踏まえた制作習慣を成熟させ、作家としての自己を確立した作品制作を目指す。授業は、各実習室で行い、各課題探求としてのエスキース（下絵）の制作、使用画材の研究、表現の探求の度合いを成果物（作品・資料）によって習熟度と到達度を確認する。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			85	15	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》]	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業への参加	課題の内容を理解して積極的に研究活動に取り組む	課題の内容を理解して興味を持って取り組む	課題の内容を理解できるように努力する	課題への理解と興味が低く、意欲的な取り組みが不足
表現方法の熟達	画材の特性を理解し、表現方法に見合った使い方を工夫できる	画材の特性と適切な表現方法を理解し、使い方に工夫を試みる	画材の特性と表現の方法に理解を深める	画材への理解が低く、表現に活用する方法への工夫の不足
研究する姿勢	自己の興味を表現に昇華する方法を模索し、積極的に制作する	自己の興味に気付き、制作として表現できるように工夫する	自己の興味を制作に表現できる方法を模索する	制作として自己の興味を表現する方法を探究出来ていない
作品の完成度	画材の特性を駆使して高い表現技術で自己の課題を表現する	画材に習熟し表現技術が秀で、自己の課題探究が表現される	画材特性を理解し、自己の表現方法への試みが表現される	画材理解と自己の表現探究が不足し、制作が迷走する

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1週 地域に関わる課題を見つけて制作する (1週)	「千代女」の人物像や俳句が作られた時代背景、俳句についても調べておく	30分
第2週 油画選択者：夏季課題実習 クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：小下図制作	キャンパス・パネルを事前に準備し、エスキース資料を研究しておくこと	300分
第3週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	自身のテーマを掘り下げて研究すること	300分
第4週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	大作へのイメージを持ちながら、制作を進めること	300分
第5週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	大作用のキャンパス・パネルは事前に準備し、下地等の作業を進めておく	300分
第6週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	下地作業を進めながら、アイデアをその都度見つめなおしておくこと	300分
第7週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	各人のこれまで制作を振り返り、制作のポイントを整理しておくこと	300分
第8週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	全体と部分の関係に注意を払いながら、大きなテーマを確認しておくこと	300分
第9週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	作品1点目の完成をこの段階で見据え、完成度を高めること	300分
第10週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	1作目をほぼ完成させること。作品2点目のエスキースを進めること	300分
第11週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	下地作業を進めながら、アイデアをその都度見つめなおしておくこと	300分
第12週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	各人のこれまで制作を振り返り、制作のポイントを整理しておくこと	300分
第13週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	全体と部分の関係に注意を払いながら、大きなテーマを確認すること	300分
第14週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習	1点目との兼ね合いも考え、2点目の完成を見据えて制作を進めること	300分
第15週 油画選択者：大作制作実習, クロッキー(グループワーク) 日本画選択者：大作本画制作実習 オーディションでのプレゼンテーション	2点の作品を同時に並べ自分のテーマを再度確認し、完成に向け制作を進めること	300分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、「産業界や地域から依頼された課題」にも授業課題として取り組む。事前事後学修としては、制作段階での課題を整理し、次回までの制作プロセスを組み立てまとめること。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
全課題提出を原則とし、提出課題の良否およびオーディション審査[11月・1月]において評価する。
(85%程度)、課題への積極的な制作活動、問題解決への取り組みを評価として勘案する。(15%)

課題に対するフィードバック

学習成果は『学習評価シート』によってフィードバックする。また、展覧会やコンクールなどへの作品発表活動に参加し、制作の意義と到達度を自ら実感する機会を設ける。

教科書・参考書

教科書は使用しない。必要な資料等は授業の中で随時紹介する。